

酒匂川の水や地下水・湧水から安心・安全な水づくりを行っています

水質管理課 出野 幸太（化学技術 平成21年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

社会人として最初に就職した会社は県外にありました。そこで始めて小田原を離れて一人暮らしをするうちに、自然に恵まれた故郷を懐かしんでは自分を育ててくれた小田原に恩返しをしたいと思う気持ちが強くなり、小田原市役所に入庁すれば故郷に住む市民の皆様の役に立つことが出来るのではないかと思います。

現在の仕事内容

平成21年に化学技術職として採用され、入庁後は水道局で主に水質の管理を行っています。

小田原市は水源が豊富であり、酒匂川の水や地下水・湧水を利用し、充実した浄水施設により浄水工程を経て安心・安全な水づくりを行っています。水質管理では、毎日の浄水工程の水質検査や、水道法で定められている項目（人体に影響を及ぼす化学物質など）を、分析機器を用いて定期的に検査を実施したり、水道水をつくる上で欠かせない薬品の管理も行っています。



仕事のやりがい

ヒトの生活に欠かせない水を安全で安心して飲める水として安定的に市民の皆様を送り届けることは、責任重大です。当然ですが毎日緊張感を持ち、水質に異常がないか確認し、安心・安全な水づくりに努めています。

責任重大なため、市民の皆様から水質に関するご質問をいただくこともあります。こうした質問には多くの時事情報を収集し、関係法令などを勉強しながら経験豊富な上司や先輩の指導を仰ぎ、迅速かつ適確に回答しています。

苦労が多い分、市民の皆様から「ありがとう」とお礼の言葉を頂いたときの喜びは感慨無量であり、明日の自分の活力になっています。



受験生の皆さんへのメッセージ

市の化学技術職の業務は、検査や分析に必要な化学的知識に加え、多種多様な環境問題などに対応するため法令や規則の幅広い知識が必要になります。法令や規則は時代の流れに大きく影響をうけるため、常に新しい情報入手し、柔軟に対応していかなければなりません。

また、水道施設や焼却施設などの業務もあるため、施設のトラブルにも迅速に対応する必要があります。どんな仕事でも大変ですが自分自身で目標をもち、必要な知識や経験を積み重ねて未来の小田原をつくっていきましょう。